

小回りのきくホームメンテサービスで、
地域の暮らしをきめ細かにサポート

株式会社 エコ・ビータ

代表取締役 下野邦夫さん



下野邦夫さん

平成22年度 採択事業

暮らしをつくる、みたく、まもる

「エコ」は、エコロジー。「ビータ」は、イタリア語で生活・生命・元気。東舞鶴で「暮らしサポート業」を営む株式会社エコ・ビータの社名には、エコロジカルな生活スタイル、素敵な暮らしを提案していきたいとの思いが込められています。「暮らしサポート業」という表現もまた、代表取締役の下野邦夫さんが長年温めてきた、熱い想いの表れ。それは「自分たちは、ただ単に建物だけを提供しているのではなく、暮らし全般をサポートしているのだ」というプロ意識であり、こだわりでもあります。

同社の特徴は「つくる」「みたく」「まもる」の3本柱で事業を構築しているところで、それが「暮らしサポート業」たる所以です。「つくる」は、暮らしの基礎となる建築設計並びに新築・リフォーム事業。「みたく」は、暮らしを潤いで満たす事業。具体的には、カフェの運営や雑貨販売、セミナーの開催などを行っています。そして「まもる」は、メンテナンス事業。今回ファンドの助成を受けた『ホームメンテ』は、この「まもる」事業の新サービスです。



『ホームメンテ』作業の様子

“困ったときはエコ・ビータ”…が理想

日々生活していると、さまざまな困りごとが発生します。水まわりのトラブルをはじめ、網戸や壁紙の張り替え、換気扇の掃除、庭木の伐採等、トラブルではないけれど自力で解決できないこと、手助けが必要なことなど…。また、どこに連絡すればいいのかわからず困ることもあります。そういった問題を一手に引き受け、対応するのが『ホームメンテ』です。

人・まち・社会を元気に

地域密着

きょうと元気な地域づくり応援ファンド支援事業
平成22年度 事例集

ファンドの支援を受けて専用車両・清掃器具等を購入し、事務所も改装。高齢者や共働き世帯をメインターゲットに、「あなたの街の便利屋さん」というポジショニングでスタートした同サービスは、エコ・ビータ会員向けの月刊情報紙でしかPRしていないにもかかわらず、そこそこの利用があり、手応えを感じているところです。

「高齢者よりも、働いている若いお母さんからの依頼が多かったのは予想外でした。今は専門のスタッフが一人しかいないため積極的なPRは行っていませんが、地域密着型サービスの一つとして徐々に浸透させていきたい。『困ったときはエコ・ビータ』と思ってもらえるようになるのが理想ですね」。



ファンド助成金で購入した専用車

自社にできるサービスで地域貢献

大学で建築を学び、会社勤めを経て30歳で独立。設計事務所の開設から約20年間、ビルやホールなど大きな建築物ばかり手がけてきた下野さんは、「人生最後の仕事として、昔からずっとやりたかった住宅事業に取り組みたい」と思い立ち、平成16(2004)年にエコ・ビータを設立しました。住宅に取り組むということは、人々の暮らしと、より密接に関わるということ。すなわち、地域に密着することです。

「都会では当たり前提供されているのに、地方にはないサービスは意外に多い。たとえば今回の『ホームメンテ』のような事業もそう。いわば都会と地方の格差ですね。環境が整わないと人も住めない。こういったサービスは地域の中小企業が担っていくべきだと思うのです」。

下野さんは行政関連のまちづくり事業にも多数携わってきた経験から、地域活性化のためには、中小企業がそれなりのサービスを行うことが必要だと感じていました。エコ・ビータを「暮らしサポート業」と位置づけたのも、地域における自社の役割を強く意識してのことだといいます。「『ホームメンテ』にしても、セミナーやイベントの開催にしても、ビジネスには直結しにくいですが、当社にできる範囲での地域貢献であり、住宅事業の販促の一環と捉えています」。



セミナー開催風景

暮らしサポート力は年々アップ

今後『ホームメンテ』を継続していくうえでの課題は、高齢者雇用の件です。当初は地域の元気な高齢者をスタッフ採用する予定でしたが、水回りメンテナンスを行うには市認定の専門家が必要であると判明したため、専門スタッフを雇用。一方の高齢者側でも適切な人材が集まらず、結局この案は一旦保留になっているとのこと。「お元気な方はシルバー人材センターへ行かれていたり、定年退職後は仕事をしない方も多い。うちも定期的な受注がなければ雇用できないので、まずは受注を増やすことが先ですね」と下野さん。PR方法については、専用ホームページの開設やチラシ配布等を検討中だそうです。

同社社屋にはショールーム、カフェ、雑貨ショップなどが併設され、どのスペースもとても楽しいイメージ。特に通りに面したセミナールームは開放的なガラス張りになっているため、親子参加型クッキングセミナー等の開催日には、道行く人たちが興味津々に覗きこむことも多いといいます。会員向けの情報紙を見て、あるいは噂を聞いて、もしくは偶然通り掛かって…。「楽しい雰囲気に誘われて、たくさんの人が集まってくる場所」という印象が強いエコ・ビータ。その引力・アピール力にも表れているように、地域との密着力、暮らしサポート力は、年々順調にアップしている様子です。

事業概要

株式会社 エコ・ビータ

<http://www.eco-vita.co.jp/>

代表：下野邦夫

業種：建設業・建築設計事務所・小売業・飲食業

創業：平成16(2004)年 設立：平成16(2004)年

住所：〒625-0042

京都府舞鶴市溝尻町 11-10

TEL：0773-64-5604 FAX：0773-64-5604